

芦屋市震災復興10周年記念事業

「忘れない 忘れない…伝えよう永遠へ」報告



平成17年3月
芦屋市

1 目 的

阪神・淡路大震災から10年を迎えるにあたり、震災で得た経験と教訓を情報発信するため、市民参加の実行委員会を設立して市民と行政の参画と協働により、自由な発想と企画の能力を発揮していただき、記念事業を開催する。

2 実行委員会の基本方針

震災から10年が経過したが、それぞれに色々な思いがある。家屋の全壊、家族の犠牲、避難所での生活、多くの人にささえられ勇気付けられた感謝の気持ち、忘れてくても忘れられないことは多くあるが、一方では、当時は幼かった子どもたちが今は時代を担う青年になり、あのときに生まれた子どもたちは震災を知らずに元気に育っている。

大人から子どもたちへ震災の経験と教訓を伝え、子どもたちから元気をもらい、そのエネルギーで世代を超えて一緒に新しい芦屋のまちを創造していく。

- ・実行委員会名称：芦屋市震災復興10周年事業実行委員会
- ・記念事業の名称：忘れない 忘れない・・・伝えよう永遠（とわ）へ
- ・事業内容：震災の思い出のみならず、元気の出る事業にする。
- ・事業の実施日：平成17年2月5日（土）

3 実行委員会会則

阪神・淡路大震災10周年記念事業 芦屋市震災復興10周年事業実行委員会会則

（名 称）

第1条 この会は、「芦屋市震災復興10周年事業実行委員会」（以下「委員会」という。）と称する。

（目 的）

第2条 委員会は、阪神・淡路大震災10周年の節目にあたり、震災犠牲者への哀悼の意と、復興に向け頑張ってきた市民やボランティアに感謝するとともに、行政との参画と協働を核として、新たな芦屋の創生に向け、「芦屋市震災復興10周年事業」の円滑な実施と運営を図ることを目的とする。

（事 業）

第3条 委員会は、前条の目的を達成するため、次の活動を行う。

- (1) 芦屋市震災復興10周年事業「忘れない 忘れない・・・ 伝えよう永遠へ」
- (2) その他、目的を達成するために必要な事業

（構 成）

第4条 委員会は、別表に掲げる団体をもって構成する。

（任 期）

第5条 役員及び委員の任期は、委員会の目的が達成されたときまでとする。

（役 員）

第6条 委員会に次の役員を置く。

- (1) 委員長 1名
- (2) 副委員長 1名
- (3) 監事 1名

（役員を選出）

第7条 役員は、次のとおり選出する。

- (1) 委員長及び監事は、委員の互選により選出する。
- (2) 副委員長は、委員長の指名により定める。

(役員職務)

第8条 役員は、次の職務を遂行する。

- (1) 委員長は、委員会の進行をつかさどり、委員会を代表する。
- (2) 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。
- (3) 監事は、事業の執行状況及び会計について監査する。

(委員会)

第9条 委員会は、次に掲げる事項を審議し、決定する。

- (1) 事業実施計画に関すること。
- (2) 予算及び決算に関すること。
- (3) 役員を選出に関すること。
- (4) 規約の制定及び改廃に関すること。
- (5) その他重要な事項に関すること。

(召集)

第10条 委員会は、委員長が召集する。

(定足数)

第11条 委員会は、その構成員の3分の2以上の出席がなければ、開催することができない。ただし、やむをえない理由により、会議に出席できない場合は、議決権を委任することができる。この場合においては、出席したものとみなす。

2 委員会の議事は、出席者の過半数でこれを決し、可否同数のときは、委員長が決定する。

(専決処分)

第12条 委員会を招集する暇がない場合は、委員長はこれを専決処分することができる。

2 前項の規定により専決処分したときは、委員長はこれを委員会において報告しなければならない。

(事務局)

第13条 委員会の会務を処理するため、芦屋市総務部企画課に事務局を置く。

(経費)

第14条 委員会の経費は、補助金、負担金、その他の収入をもってあてる。

(会計)

第15条 委員会の会計年度は、平成16年6月28日に始まり、解散の日をもって終了する。

(解散)

第16条 委員会は、第2条に定める目的が達成されたときに解散する。

(補足)

第17条 この会則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は委員長が別に定める。

(附則)

1 この会則は、平成16年6月28日から施行し、解散の日をもってその効力を失う。

【別表】

芦屋市震災復興 10 周年事業実行委員会構成表

構成団体

構成団体名

- ・ 芦屋市商工会
- ・ 芦屋東ライオンズクラブ
- ・ 芦屋川ロータリークラブ
- ・ 芦屋経済人会議
- ・ 芦屋ハーモニーライオンズクラブ
- ・ 日本ボーイスカウト兵庫県連盟
- ・ 芦屋市 P T A 協議会
- ・ (有)山村伊左衛門商会
- ・ 芦屋市

役員・委員名簿

役員	氏名・所属
委員長	石本章宏 芦屋東ライオンズクラブ
副委員長	中山克彦 芦屋市商工会
監事	向 俊治 (有)山村伊左衛門商会
委員	稲本佳嗣 日本ボーイスカウト兵庫県連盟
委員	藤田芳子 芦屋市商工会・婦人部
委員	片岡奈津子 芦屋ハーモニーライオンズクラブ
委員	永瀬純治 芦屋川ロータリークラブ
委員	小林繁夫 芦屋経済人会議
委員	中井和枝 芦屋市 P T A 協議会
委員	杉町 納 芦屋市 (総務部市民参画課)

事務局

事務局	氏名・所属
事務局長	三木五郎 芦屋市総務部企画課

参考 委員会開催 平成 16 年 6 月 28 日から平成 17 年 1 月 28 日まで、計 8 回

4 「忘りたい 忘れない・・・伝えよう永遠へ」開催結果

- 開催日 平成17年2月5日(土) 開場：13:30 開演：14:00～
会場 ルナ・ホール (入場無料)【入場者数 約300人】
内容 ・講談：旭堂南海「一本の桜が見ていた」
・だんじり囃子「三條」
・こどもジャズダンス エトワル宮川(ラビット・バンピ・小学校クラス)
「ハッピーラッキー」「奇跡の香りダンス」「シャイニング・スター」
・アカペラ「ダイナマイトしゃかりきサーカス」
「AIN T NO MOUNTAIN HIGH ENOUGH」「ふるさと」
「大きな星 小さな星」【今回の催しのために作られたテーマソング】
・ヒップホップユニット「チームMIC TIMER」
「MIC TIMER」「ENTA DA STAGE」「レペゼン」
・だんじり囃子「山之町」
主催：芦屋市震災復興10周年事業実行委員会
共催：芦屋市 後援：芦屋市教育委員会 協賛：株式会社 真田
記録：



プログラム

2005年 2月5日(土)
14:00開演(13:30開場)
芦屋ルナ・ホール

主催：芦屋市震災復興10周年事業実行委員会
共催：芦屋市 後援：芦屋市教育委員会
協賛：株式会社 真田

ご挨拶

本日は、「忘りたい 忘れない・・・伝えよう永遠へ」にご来場いただきありがとうございます。

阪神・淡路大震災から10年がたち、芦屋市から「節目の催しを」との依頼で、昨年6月に10人のメンバーで「芦屋市震災復興10周年事業実行委員会」を立ち上げました。

多くの方が被災経験をされ、あの時のことは思い出したくもないと思われる方、また、あの時の支援に感謝されている方、自らボランティアとして活躍された方など、私たちはそれぞれに様々な思いを持ってこの10年を過ごしてまいりました。

あの日のことは、つらくとも忘れることはできません。また、あの時に援助をしてくださった方々への感謝の気持ちも忘れることはできません。あのときの子どもたちは次代を担う世代に育ち、今の子どもたちは、あの震災を知らずに育っています。

本日は、忘りたいけれど忘れられない様々な出来事を伝え残したい、若い世代の方々の頑張っている姿から、元気をもらいたいと企画いたしました。

震災からの10年、私たちが頑張ってきましたが、本日の出演者たちも元気に頑張っています。

本日のステージから明日へのエネルギーを充填していただければと願っております。

平成17年2月5日

芦屋市震災復興10周年実行委員会


委員長 石本章宏




中山克彦 向 俊治 榎本佳嗣 片岡奈津子 小林繁夫 中井和枝 永瀬純治 藤田芳子 杉野 祐

◆映像でつづる「忘れない 忘れない・・・伝えよう永遠へ」

◆講談 「一本の桜が見ていた」

旭堂南海  阪神淡路大震災、あの日からの10年を芦屋市で当時のことを取材して、本日の話にまとめました。芦屋の桜の木は、この10年何を感じ、何を見ていたのでしょうか……。


◆子どもジャズダンス エトワル宮川

 ・「ハッピーラッキー」 ラビットクラス
・「奇跡の香りダンス」 バンピクラス
・「シャイニング・スター」 小クラス

◆アカペラエンターテイメントグループ
《ダイナマイトしゃかりきサーカス》

 ・「AIN'T NO MOUNTAIN HIGH ENOUGH」
・「ふるさと」「大きな星 小さな星」

◆Hip Hop Unit 《チームMIC TIMER》

 ・「mic timer」
・「FENTA DA STAGE」
・「レベゼン」

総合司会・進行 藤原 愛

◆だんじり囃子 《三條》・《山之町》

 ・吉井
・青木
・瀬井

三條

 ・時宗
・戎谷
・堺谷

山之町





来場者を待つ「看板」



開場準備のスタッフ



ルナ・ホール開場間際



来場者のお迎え

芦屋市震災復興 10 周年事業実行委員会
「忘れない 忘れない・・・伝えよう永遠へ」



来場者の数にスタッフは一安心



午後 2 時 開演



司会者から 10 年前の震災の被害は……！



実行委員長：石本氏からご挨拶



・・元気をもらい、そのエネルギーと一緒に・・



ビデオ「忘れない 忘れない・・・伝えよう永遠へ 虹」



震災映像と若者からのコメントも聞いた



講談「一本の桜が見ていた」旭堂南海氏



震災で祖父をなくした少年が老いた桜の木と・・・



だんじり囃子《三條》



力強い鐘と太鼓の音に拍手が・・・



インタビューで「地域で残して行きたい」



子どもジャズダンス エトワル宮川の《ラビットクラス》「ハッピーラッキー」



《バンピクラス》「奇跡の香りダンス」



きめのポーズもバッチリです。



《小学クラス》「シャイニング・スター」



年長クラスはスピードもありました。



アカペラ《ダイナマイトしゃかりきサーカス》

今回のテーマソング「大きな星 小さな星」も披露してもらいました。



ヒップホップ《チーム MIC TIMER》

中高年には理解できないところもあるようですが、なかなかのノリでした。



・・・地元のステージで演奏できてうれしい・・・



だんじり囃子《山之町》



鐘や太鼓のリズムで会場のテンションもグッと上がっていました。



本日のプログラムも終了に近づき、だんじり囃子によって出演者全員がステージへ



市長からの終演のご挨拶



フィナーレは会場も一緒に！



アカペラグループのリードで、「大きな星 小さな星を」合唱しました。



観客とステージが一体となる時間を共有することができました。



出演者の皆さん、会場へ来てくださった皆さん、スタッフの皆さん
ありがとうございました。



大きな星 小さな星

Words song wright by Bungo Godai

A

う まれた—ときから—ぼくた—ちは—かがやくおおきな ほしだった—だ
う まれた—ときから—きみた—ちは—あらしのうみへと—こぎだした—ゆ

い ちを—ゆるがす—かぜの—こえ—えがおをうばった あ の あ さ
く えを—さえぎる—なみと—かぜ—じゆうをうばった あ の あ さ

B

ほ—くた ちは と—り にな り
き—み たち は ほ—し にな り

ほ し へ と か え っ て ゆ く ゆう きの つば さ ひろ げ
そ ら へ と か え っ て ゆ く ゆう き と ひ き か え に

C

ど—こ ま で も と ん で ゆ け
い—つ の ひ も わ す れ な い

ど—こ ま で も と ん で ゆ け
い—つ の ひ も わ す れ な い

生まれたときから僕たちは 輝く大きな星だった
大地を揺るがす風の声 笑顔を奪ったあの朝
僕たちは鳥になり 星へと帰っていく 勇気の翼ひろげ
どこまでも 飛んで行け どこまでも 飛んで行け

生まれたときから君たちは 嵐の海へと漕ぎ出した
行く手をさえぎる波と風 自由を奪ったあの朝
君たちは星になり 宇宙へと帰って行く 勇気とひきかえに
いつの日も 忘れない いつの日も 忘れない

どこまでも 飛んで行け どこまでも 飛んで行け
いつの日も 忘れない いつの日も 忘れない

「忘れない 忘れない・・・
伝えよう永遠へ」の趣旨に賛
同し、今回新たに製作してい
ただきました。
この催しのメインテーマ曲
として演奏いたします。

芦屋市震災復興 10 周年事業実行委員会
「忘れない 忘れない・・・伝えよう永遠へ」

芦屋市震災復興10周年事業実行委員会
「忘れない 忘れない・・・伝えよう永遠へ」

芦屋市震災復興 10 周年記念事業報告書

発効日 平成 1 7 年 3 月

編 集 芦屋市震災復興 10 周年事業実行委員会

発 行 芦屋市総務部企画課

〒659-8501 芦屋市精道町 7 番 6 号

TEL(0797)38-2009 FAX(0797)-31-4841